



株主・投資家の皆様へ

1

First Quarter

第1四半期

2008年4月 1日から
2008年6月30日まで

特集

医療保険CURE [キュア]のご紹介



財務ハイライト

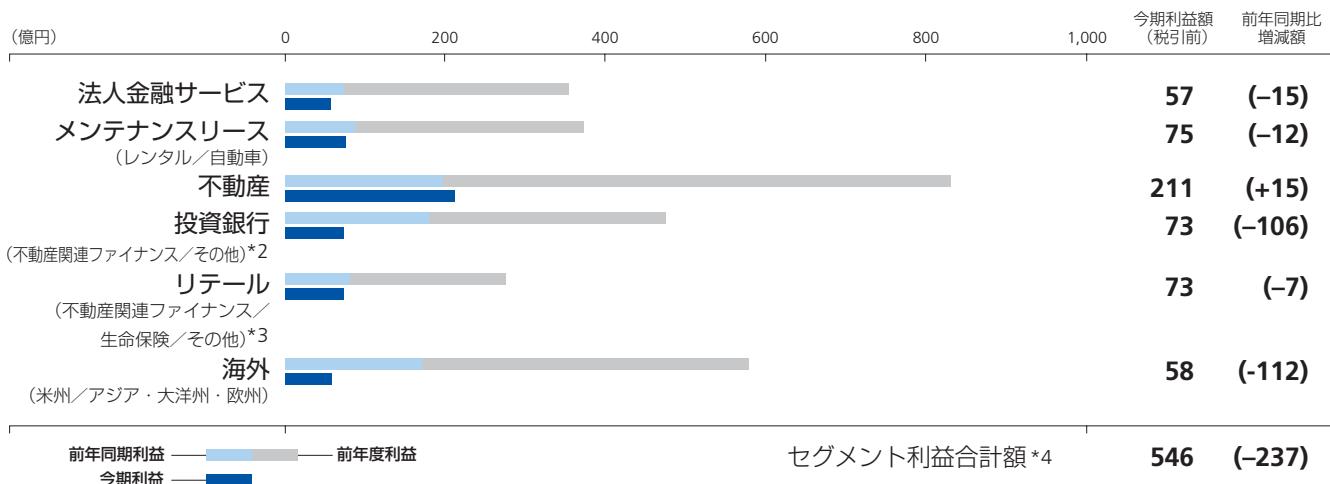
業績ハイライト 米国会計基準（未監査）

	2008.4-6	2007.4-6	増減率
営業収益（百万円）	272,301	282,088	3.5% 減
税引前当期純利益（百万円）	50,736	72,211	29.7% 減
当期純利益（百万円）	32,359	45,778	29.3% 減
1株当たり当期純利益（基本的）（円）	362.96	501.27	27.6% 減
1株当たり当期純利益（希薄化後）（円）	356.09	488.19	27.1% 減

	2008.6	2008.3	増減率
株主資本（百万円）	1,251,832	1,267,917	1.3% 減
総資産（百万円）	9,005,411	8,994,970	0.1% 増
1株当たり株主資本（円）	14,111.43	14,010.62	0.7% 増

セグメント利益（第1四半期）の増減

中長期的な視点に立った持続的な成長を目指すために、市場の変化に応じて機敏かつ柔軟に経営を行うことを目的として、オリックスは組織を一部変更し新体制で経営を執行していくことにしました。これに合わせて2008年4月1日より戦略の策定、経営資源の配分、ポートフォリオバランスの決定などを行うセグメントを、主要な商品・サービスの性格、顧客基盤および経営管理上の組織に基づいて、法人金融サービス、メンテナンスリース、不動産、投資銀行、リテール、海外の6つに変更しました。



*1 下段（ ）は、2008年3月期のセグメントです。

*2 投資銀行の前年セグメントには、不動産関連ファイナンスの中の不動産ファイナンス事業、証券化事業、サービス事業、およびその他の中のベンチャーキャピタル事業、プリンシパルレインベストメント事業が含まれます。

*3 リテールの前年セグメントは、不動産関連ファイナンスの中の住宅ローン事業、生命保険事業、およびその他の中の証券事業、カードローン事業が含まれます。

*4 本社部門の費用などが含まれていないため、セグメント利益合計額は連結財務諸表の税引前当期純利益と一致しません。

第1四半期決算の概況（3か月実績）

Point

1

「堅実性優先」の経営戦略を継続

世界の金融市場の混乱は長期化の様相を呈しており、国内の実体経済も厳しくなりつつあります。オリックスは、前期後半に成長性よりも堅実性を優先すべきと判断して以来、資産の増加ペースを抑制し、信用リスクについて、より慎重に対応してきました。当面は、この経営戦略を継続していきます。

Point

2

当期純利益は前年同期比29%の減少

2009年3月期第1四半期（2008年4月1日～2008年6月30日）の米国会計基準連結決算における当期純利益は、前年同期比29%減の324億円となりました。主な減益の要因は、投資先からの「持分法投資利益」や「有価証券等仲介手数料および売却益」の減少でした。セグメント別に見ると、昨今の金融市場変動の影響を受け、市場関連取引の割合が高い事業（投資銀行業、海外事業）の利益が大きく減少しました。しかし、世界の金融機関が多額の損失を計上しているのに対し、オリックスはグループ全体にわたりリスクをしっかりと管理しており、利益は減少したものの損失を計上したセグメントはありませんでした。厳しい事業環境下においてもROEは10.3%、ROAは1.44%（いずれも年率換算）と、相応の収益性を維持しています。

Point

3

強固な事業基盤と環境変化から生じるビジネスチャンス

本年4月に約300億円の自己株式を取得しましたが、株主資本比率は13.9%と適切な水準を維持しています。また、5月にはムーディーズ社による格付けがBaa1からA3に引き上げられました。厳しい環境ではありますが、慎重にリスクを見極めながら、これまでに構築してきた強固な事業基盤と充実した財務体質により、環境変化から生じるビジネスチャンスや投資機会をしっかりと捉えていきたいと考えています。

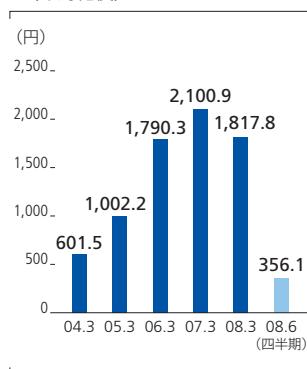
オリックスが目標とする経営指標

オリックスは、1株当たり当期純利益（希薄化後）の成長率、ROE（株主資本当期純利益率）および株主資本比率を重要な経営指標とし、成長性、収益性、健全性のバランスを重視した事業ポートフォリオの構築に努めてまいります。

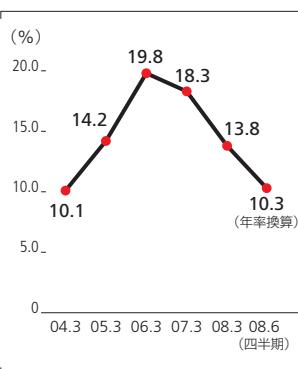
▶ 成長性

1株当たり当期純利益
(希薄化後)の持続的な成長

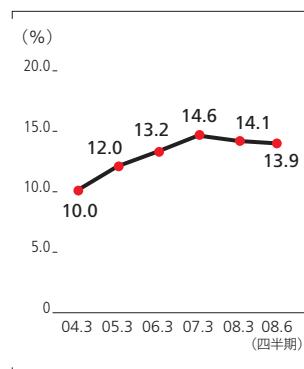
▶ 1株当たり当期純利益
(希薄化後)



▶ ROE



▶ 株主資本比率



▶ 収益性

ROEの維持・向上

▶ 健全性

リスク量の変化に応じた
株主資本比率の維持

アラブ首長国連邦 (UAE) 事業のご紹介



ドバイの屋内人工スキー場

前回のインド事業に引き続き、今回はアラブ首長国連邦 (UAE) での事業活動についてご紹介いたします。

中東地域は、豊富なオイルマネーにより、近年急激な成長を続けてきました。特にドバイにおける建設ラッシュはいまだかつてない規模で行われており、「世界のクレーンの3台に1台はドバイにある」と言われるほどです。

オリックスは、この活況に沸く中東地域に、1986年から進出し、各国のパートナーと様々な事業を展開しています。

中東・北アフリカ地域でのパートナーであるマジッド・アル・フタイム・グループ (MAFグループ) はドバイを拠点とし、大型ショッピングモールや、大手スーパーマーケットの「カルフル」、ホテル、シネマ・コンプレックスなどの運営を行っている、最も著名な財閥の1つです。またMAFグループは、中東唯一の屋内人工スキー場のオーナーとしても有名で、中東に“Something New” (何か新しいもの) を持ってくる財閥として注目を集めています。この屋内人工スキー場は、灼熱の中東で「冬」を体験できる唯一の施設として連日活況を呈しています。

オリックスは、1986年にパキスタンでリース会社を設立して以来、現在までにオマーン、エジプト、サウジアラビア、UAEなど5カ国で事業を展開しており、いずれも順調に業績を

伸ばしています。

昨年1月、オリックスは、株式会社ジェーシービー (JCB) やMAFグループと提携し、ドバイに合併のカード会社を設立することで合意しています。新会社は、MAFグループの持つショッピングモールやスーパーマーケットなどを訪れる豊富な顧客基盤に対し、JCBカードの発行を行います。このJCBカードは、ショッピングモールや人工スキー場などで利用すると様々な特典を受けられる中東ではユニークなクレジットカードで、今後、中東の人々に新たな驚きと利便性をご提供いたします。

中東地域は他のエリアに比べ、クレジットカードの普及率が低く、今後さらに大きなマーケットの拡大が期待されています。この事業機会を捉え、JCBカードの発行は、ドバイに留まらず、MAFグループが中東・北アフリカ地域でショッピングモールなどを運営している国々においても、順次行っていく予定です。

オリックスは、リース事業やカード事業以外にも、現地パートナーのネットワークを活用して不動産開発投資やエクイティ投資など、中東における新たなビジネス機会を適切に捉え、事業化してまいります。

中東および周辺地域主要グループ会社 (2008年6月末現在)

国名	会社名	設立	事業内容	出資比率
パキスタン	ORIX Leasing Pakistan Limited	1986年7月	リース、自動車リース	50%
	ORIX Investment Bank Pakistan Limited	1995年7月	投資銀行業務、証券	40%
	ORIX Properties Pakistan Private Ltd.	2007年3月	不動産開発・管理	67%
オマーン	Oman ORIX Leasing Company SAOG	1994年7月	自動車リース、割賦売買、ファクタリング	24%
エジプト	ORIX Leasing Egypt SAE	1997年6月	リース	34%
サウジアラビア	Saudi ORIX Leasing Company	2001年1月	リース、自動車リース	25%
アラブ首長国連邦	MAF ORIX Finance PJSC	2002年4月	リース	38%

トピックス

オリックス、全国13行の地方銀行と包括提携 — 事業継承など中堅・中小企業の成長支援 —

オリックスは、北海道から九州まで、全国13行の地方銀行と中堅・中小企業の成長支援を目指す包括提携に関する基本合意に達しました。

各地域に強固な顧客基盤を持つ有力地方銀行と、国内1,181拠点・海外289拠点（25カ国・地域）で事業を展開するオリックスが包括提携することにより、国内外での情報ネットワークの融合が可能となります。

各行の取引先である中堅・中小企業が抱える事業承継、海外進出等の経営諸課題に対し、オリックスが持つ投資銀行関連業務ノウハウや各種金融サービスを提供するとともに、各地方銀行の営業エリアを超えたM&A情報のマッチングも、オリックスのネットワークを通じ全国規模で行っていきます。

オリックスは、これまでも再生ファンドの組成、動産担保保証業務、事業者向け無担保ローン保証業務等、テーマ毎に全国の多くの地域金融機関と提携してきました。2006年にはリレーションパートナー制度*を導入し、公認会計士、税理士、コンサルティング会社などをはじめとする約650の全国ネットワークも構築しています。

蓄積したノウハウとネットワークに、本提携を加えることで、地域金融機関が推進している地域密着型金融の、さらなる浸透にも寄与できると考えています。

*リレーションパートナー制度：

オリックスが日本全国の公認会計士事務所、税理士事務所、コンサルティング会社などとの間で締結し、顧客の紹介および各種情報の提供を委託しているオリックス独自の外部ネットワークです。この制度の導入により、オリックスの地域情報収集ネットワークは飛躍的に拡充しています。

その他のトピックス

2008年7月22日	「中国科学院」のPEファンドに出資	オリックス 海外事業部
2008年6月23日	エディオンの子会社エイデン12店舗に「エコ事業」導入のお知らせ	オリックス
2008年6月23日	JCBと中小事業者向けローン専用カード「JCB Business loan」で提携	オリックス・クレジット
2008年5月27日	「バンクプレミア」の取り扱い開始	オリックス信託銀行
2008年4月22日	女性専用「医療保険 CURE Lady（キュア・レディ）」新発売	オリックス生命保険

オリックス自動車 『メルセデス・ベンツA 200』 試乗キャンペーン開始！

オリックス自動車は、メルセデス・ベンツ日本と2008年7月17日より、オリックス自動車のレンタカーブランド「オリックスレンタカー」「レンタカージャパレン」の沖縄16拠点にて、『メルセデス・ベンツA 200』の試乗キャンペーンを開始しました。



メルセデス・ベンツA 200（Dクラス）

国内旅行で人気の沖縄。夏休みを利用して旅行する機会が増える時期に合わせて、今回、『メルセデス・ベンツA 200』のレンタカーを最大54%割引にてご提供します。大手レンタカー会社で『メルセデス・ベンツA 200』を扱うのは今回が初めてです。

メルセデス・ベンツ日本では、レンタカーを活用して“乗る機会”を創出し、『メルセデス・ベンツA 200』の特徴である「操縦安定性」や「高度な安全性」、「ゆとりある室内空間」「高いシートポジションによる優れた乗降性や広い視野による運転のしやすさ」などを体感していただきたいと考えています。

今後も、メルセデス・ベンツ日本とオリックス自動車は、お客様に「車を利用する楽しさ」を提案し、CS（お客様満足）向上に努めてまいります。

* 本キャンペーンに関する詳細情報は、下記ホームページよりご確認ください。
http://car.orix.co.jp/wr/campaign/okinawa_10.html

医療保険CURE [キュア]のご紹介

オリックス生命保険が2006年9月に発売した医療保険CURE [キュア]。発売以来、マーケットで高く評価され、契約件数を伸ばしています。マスコミの医療保険特集では必ずといっていいほど取り上げられる人気商品に成長した医療保険CURE [キュア]。2008年2月の週刊ダイヤモンド誌の特集記事では、「プロが入りたい保険（医療保険）」のNo.1に選ばれました^(*)。2008年5月には、女性特有の病気やすべてのがん到手厚い保障の「医療保険CURE Lady [キュア・レディ]」の販売も開始しました。

(*)1 保険商品に詳しいFP（ファイナンシャルプランナー）など14名が「入りたい医療保険」として名前を挙げた結果、最も多くの支持を集めました。

もっと手頃に、ずっと安心を。



シンプルな商品内容：だからわかりやすい

医療保険の本質的な役割は「病気やケガで入院したとき、あるいは手術が必要となったときの必要十分な経済的保障」です。しかしながら、多くの保険会社が医療保険の開発にしのごを削っていった結果、医療保険はどんどん多様化していきました。様々なオプション（特約など）、お祝い金やボーナス（一定期間、無事に過ごせたら保険料の一部が戻る仕組み）、限定的な病気や症状にのみ対応するもの…。

こうした中で、オリックス生命保険（以下、オリックス生命）は原点に戻り、医療保険の本質的な役割を果たすシンプルな医療保険を開発しました。それが医療保険CURE [キュア] です。入院したら入院給付金を支払う。手術をしたら入院給付金日額の一律20倍の手術給付金を支払う。そして入院する可能性が高く、かつ入院が長期化する傾向のある生活習慣病に対しては1入院の支払限度日数を長くする（120日）^{(*)2}。商品内容がシンプルであれば契約者が理解しやすく、未請求による不払いも起こりにくくなります。さらにシンプルであることの効用は、なんといっても保険料に反映されることでしょ。

(*)2 医療保険CURE [キュア] は、以下の7つの生活習慣病を「七大生活習慣病」とし、1入院の支払限度日数を120日にしました。

- ①がん（悪性新生物・上皮内新生物）、②糖尿病、③心疾患、④高血圧性疾患、⑤脳血管疾患、⑥肝硬変、⑦慢性腎不全。

割安な保険料： オリックス生命ならではの、の合理性追求

医療保険CURE [キュア] が高い支持を得ている大きな理由は、その割安な保険料です。「安心」を少しでもお手頃な保険料でご提供するため、オリックス生命は様々な工夫を行いました。たとえば、保険料払込期間中の解約払戻金をなくす。そして、入院日数の短期化という現状を踏まえ、7つの生活習慣病以外の病気やケガによる1入院の支払限度日数は60日と短くする。あくまでも保障に特化したシンプルな商品内容は、保険料の割安化につながっているのです。また、シンプルな商品内容は事務コストの削減にもつながっています。この削減された分は保険料の割安化という形で反映されています。

医療保険CURE [キュア] の商品特長

厚生労働省「平成17年患者調査」によると、入院患者の3人に1人が七大生活習慣病による入院となっています。特に脳血管疾患の平均在院日数は101.7日で、他の疾患に比べて長期に及ぶ、という結果が出ています。医療保険CURE [キュア] は、このような実態を踏まえて設計されています。

1 病気・ケガによる入院・手術を 日帰り入院から保障

入院された場合、1回の入院につき60日、通算最高1000日まで入院給付金をお支払いします。また、日帰りからの短期入院にも対応します。

2 七大生活習慣病による入院は 1入院120日まで保障

約款所定の七大生活習慣病で入院された場合には、1入院のお支払い限度を120日に拡大し、長期化しがちな生活習慣病の入院をしっかりとカバーします。

3 特約付加で、三大疾病で入院を 開始されたら一時金をお支払い

特に高額になりがちながん、脳卒中、急性心筋梗塞の治療を目的として入院を開始されたときに一時金をお支払いします（がんの場合は診断確定後の入院に限ります）。入院にかかる初期費用にしっかりと備えていただけます。

※ がんの保障は契約の責任開始日からその日を含めて90日を経過した日の翌日（がん責任開始日）から開始します。

1997年、定期保険の通信販売を業界で初めて本格的に開始したオリックス生命。生命保険を契約者や被保険者と面談せずに販売することなど、リスクが高すぎると考えられていた時代に、オリックス生命はその常識を覆し、かつ、業界でも最低水準の保険料を実現しました。

常にお客様の立場になって考え、困難に思えることにもチャレンジして新たな商品をご提案してきたオリックス生命。医療保険CURE [キュア] の発想も、その延長線にあるものです。それが、オリックスの標榜するブランドスローガン「ほかにないアンサーを。」の具現化であることは言うまでもありません。オリックスはこれからも、お客様の立場になって考え、常に新たなチャレンジを続けてまいります。



【キュア・レディ】の交通広告

広告キャラクターに、上野樹里さんを起用

医療保険CURE [キュア] の広告キャラクターを務めているのは上野樹里さん。ドラマ『のだめカンタービレ』や『ラスト・フレンズ』、映画『スウィングガールズ』などに出演し、いま最も注目されている若手女優のひとりです。新商品「医療保険CURE Lady [キュア・レディ]」のテレビCMでは、一生懸命に生きる等身大の女性の姿をくっきりと映し出しています。

そのCM制作は、構想こそ数ヶ月をかけたものの、撮影はたったの1日。売れっ子の女優さんのスケジュールを押さえるのは大変なものです。撮影当日は早朝から深夜までびっしりのスケジュールが組まれました。

CM「しっかりしなきゃ・占い師」篇の撮影が始まったのは、関係者の疲れがピークに達した夕方でした。最高の表現を追求する監督と妥協を許さない上野さんとで、何十回となく撮り直されました。関係者の中で最も疲れているのは、朝から飛んだり跳ねたりの演技をした上野さんのはず…。それなのに疲れた様子は微塵も見せません。そんな上野さんの姿に、プロ根性というか、女優魂のすごさを見せ付けられました。



テレビCM「しっかりしなきゃ・占い師」篇

●オリックスのサイト情報

前回に引き続き、お金にまつわるコミュニティサイト「MONEY広場」の中から、今回は『マネー知恵袋』をご紹介します。

「MONEY広場」のサイトは、MONEY広場 検索 から。

裏ワザ満載！「マネー知恵袋」

マネー知恵袋では、読者の皆様から投稿していただいたお金にまつわる「知恵」や「裏ワザ」をご紹介します。

「ガソリン高の対策は？」「秋の夜長の過ごし方は？」など、季節に合わせた知恵から「株主優待制度を利用しよう」「株への投資スタイルは？」といった、投資にまつわる知恵まで、様々なジャンルの知恵が満載です。「貯める知恵」「殖やす知恵」「使う知恵」「節約する知恵」「備える知恵」「楽しむ知恵」に分けてご紹介しています。

なお、毎月、投稿いただいた方の中から優秀賞を選定し、図書カード3,000円分を進呈しています！ 株主の皆様もぜひご投稿ください。



メール配信サービスについて

個人投資家の方々に決算に関する情報やプレスリリースについてメール配信をしています。ご関心のある方は当社 HP からご登録をいただけます。

(<http://www.orix.co.jp/ir/>)



●株式情報（2008年3月31日現在）

発行可能株式総数：259,000,000株

発行済株式総数：92,193,067株

株主総数：30,562名

株主名簿管理人：

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号

●上場証券取引所

東京証券取引所 市場第1部

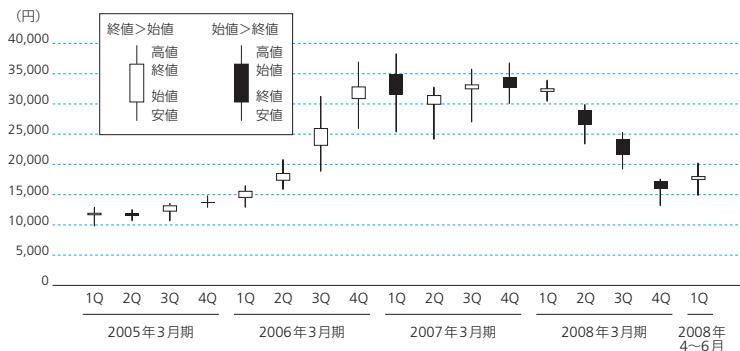
大阪証券取引所 市場第1部

証券コード…8591

ニューヨーク証券取引所

証券コード…IX

●株価推移



ご注意

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。従いまして、これらの見通しにのみ全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化による様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しております20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」および関東財務局長に提出しております有価証券報告書並びに東京・大阪証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」において記載されておりますが、これらに限るものではありません。

本誌掲載記事についてのお問い合わせ

オリックス株式会社

社長室IR担当

〒108-0014 東京都港区芝4-1-23 三田NNビル

Tel: 03-5419-5041 Fax: 03-5419-5901

E-mail: orixir@orix.co.jp

URL: <http://www.orix.co.jp/ir/>